

長年の功勞に対して
山岸市長が全国市長会より表彰
6月6日 東京都内



6月6日に東京で開催された全国市長会において、山岸市長が在職12年に達したことにより、永年勤続功勞者として表彰を受けました。

豊かな自然が解禁に
大長山・赤兎山が山開き
6月10日 北谷町小原区



今年、白山国立公園に編入された北谷町小原区で、大長山と赤兎山の開山式が行われました。これから本格的な登山シーズンを迎えます。

越前大仏25周年
もんぜん市にぎわう
6月10日 越前大仏



越前大仏25周年を記念した、もんぜん市まつりが開催されました。小雨の降るあいにくの天気にもかかわらず、多くの方が訪れていました。

昔ながらの炭焼きを体験
炭焼き窯へ原木を運び入れ
6月28日 荒土町新道区



荒土小学校の5年生10人が、荒土町新道で昔ながらの炭焼き作りの手伝いをしました。子どもたちは荒土町ふるさとづくり推進協議会の人に指導を受けながら、ミズナラなどの原木を窯の中に運びました。約2週間後に完成します。

水害に備えるために
水防訓練が行われました
6月30日 勝山橋下流側左岸



水害に備えるための水防訓練が行われ、市内全ての消防団と勝山消防署員、日赤奉仕団と市役所関係者等が参加しました。県警防災ヘリによる救助訓練なども行われました。

助っ人ボランティアも活躍
すこやかフェスタ開催
6月30日 福祉健康センターすこやか



第33回すこやかフェスタが開催され、多くの来場者でにぎわいました。市内小学5・6年生と中学生が「助っ人ボランティア」として参加し、車椅子体験の補助や模擬店の販売などを手伝いました。

歴史の散歩道 (141)

この額は現在、成器南小学校の校長室に掲げられており、「父子親有り、君臣義有り、夫婦別有り、長幼序有り、朋友信有り」に始まる漢文である。

江戸時代には、幕府の学校である昌平黌(校)をはじめ、全国の藩校では先ず中国の儒教を学んだ。これは孔子に始まる中国古来の政治・道徳の学問である。幕府は、儒教の中でも朱子学を正学として奨励したため、諸藩校でも朱子の「白鹿洞一学規」を掲げて学問を学ぶ指針とした。成器堂に掲げられたのは、末尾に「明治四年歲次辛未夏五 小笠原勝山藩知事源(小笠原)長守薫沐拜書」とあるように、版籍奉還後のことであるが、これが講じられていたことは確かであろう。

「白鹿洞」とは、中国江西省廬山山麓にあった民間の学校で、九世紀初めに唐の学者李渤が、ここで教えながら白鹿を飼っていたところから、この名がある。ところが、南宋の頃にはすっかり廃れていたため、朱熹(朱子)は廃れていた「白鹿洞書院」を再興してここで講義をし、方々の書院の手法となる教育の理念

成器堂に掲げられていた
「白鹿洞書院揭示」

を説き、「白鹿洞書院揭示」を残した。これは儒教から採り、人倫の道を自覚させ、学校に学ぶ者の心得を明らかにしたものである。朱熹は、中国宋王朝(四二〇〜四七九)の官僚(南康軍知事)であり、高名な儒学者であった。彼は、北宋以来の潮流に基づいて大成した儒学の体系をつくった。これは朱子学と言われ、江戸時代の日本にも導入され、林羅山(昌平黌の大学頭)、山崎闇斎などが学び朱子学派と言われ、幕藩体制を支える学問として重んじられた。



白鹿洞書院揭示(幅4m、高さ50cm、傷みで読めない箇所がある。福井藩明道館では安政年間より閉講式に講じられていた。)

文化財保護委員 増田公輔
参考 『朱子文集』友枝竜太郎など

こども図書

伝記
人物ものがたり
「そのとき何歳?」
講談社/編
講談社

ピアニスト・辻井伸行、狂言師・野村萬斎、作曲家・久石譲、作家・はやみねかおる…。さまざまなジャンルで功績を残す日本人50人は、何歳のときにどんなことがあったのか。それぞれの子どもの時代を紹介する。

おすすめ図書

中高生図書

「ねえ、委員長」
市川 拓司/著
幻冬舎

品行方正・成績優秀な学級委員長のわたしと、小説を書き始めた落ちこぼれの鹿山くん。実らなかった初恋が、時空を超えていまの自分に届く。表題作をはじめ全3編を収録。『パピルス』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

一般図書

NHKスペシャル
「生活保護3兆円の衝撃」
NHK取材班/著
宝島社

受給者が205万人を突破した生活保護。悲鳴を上げる自立・就職支援の現場に密着し、受給者の実態から貧困ビジネスの闇まで、制度の矛盾を浮き彫りにする。NHKスペシャル「生活保護3兆円の衝撃」の内容をもとに単行本化。

DAISY図書をご存知ですか?

DAISYとは、視聴覚に障がいのある方や印刷物を読むことが困難な方のための、デジタル録音図書(CD-ROM)です。これらは、音声を聞きながら静止画や動画を見ることが可能です。

主に児童向け作品を所蔵・貸出ししていますので、ぜひご利用ください。

勝山市立図書館 ☎88-6000
ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>